

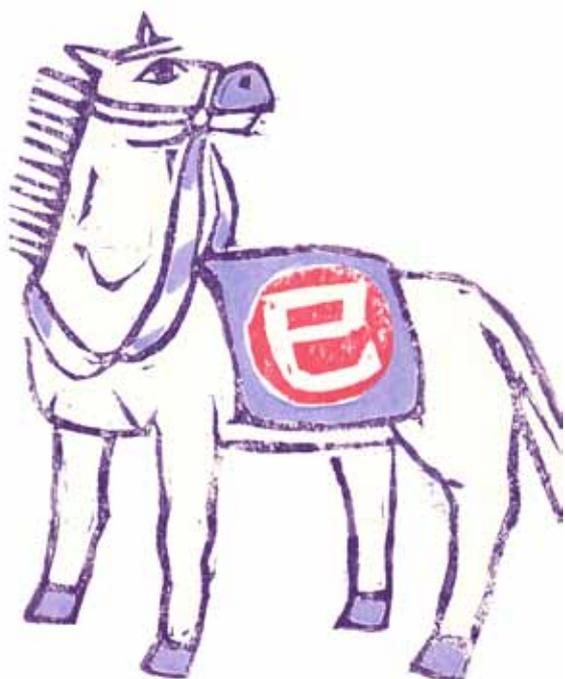


阿波人形浄瑠璃の世界

# 鳴門の人形浄瑠璃

2021年  
11/6(土)~11/28(日)

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷  
入場料 一般410円、高・大310円、小・中200円



## 特別公演①鳴門の人形浄瑠璃

恋女房染分手綱 重の井子別れの段

11/6(土), 11/28(日)

両日とも 14:00~14:40



## 特別公演②人形のルーツ

えびす舞

11月7日(日)、13日(土)、14日(日)、  
20日(土)、21日(日)、27日(土)

各日とも 15:00~15:30



## 特別展「鳴門の町と人形浄瑠璃」

大江巳之助の仕事

人形、能面、絵、写真など  
写真で見る鳴門のにぎわい

### 物販コーナー

鳴門の町と人形浄瑠璃の発展を物語る  
逸品を集めて販売します。  
鳴門まんじゅう、井上味噌など

主催：徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202 Fax.088-665-3683

mail/info@hyoutanjima.tokushima.jp



# 鳴門の人形浄瑠璃

撫養港は、江戸時代から四国の玄関の役割を果たし、鳴門の塩や吉野川流域の藍、県南の木材など徳島の特産物の積出港として大いに賑わいました。また鳴門の渦潮は、広重や北斎の浮世絵に描かれるなど、古くから徳島屈指の観光の名所としても名を馳せます。撫養街道沿いには、旅館や呉服屋、和菓子屋など多くの商店が建ち並び、遊郭や人形浄瑠璃の芝居小屋もでき、さまざまな芸能や文化が発展したのです。鳴門の人形浄瑠璃は、このような地域の風土や産業、まちの発展とともに今日まで受け継がれてきたのです。

## 特別公演①鳴門の人形浄瑠璃

義太夫節浄瑠璃の総合認定保持者として活躍している太夫の竹本友代さんは、鳴門市出身。幼少の頃から浄瑠璃を習い、岡崎にあった鳴門自然水族館の郷土館で太夫として出演していました。城北高校民芸部のOBで結成した城北座にも、郷土館で人形を遣っていた座員がいます。鳴門座は、大江巳之助さんのお弓とお鶴を所有し、鳴門を拠点に活躍しています。太夫の大橋后代さんは鳴門座の座員でもあります。

### 恋女房染分手綱 重の井子別れの段

11/6 **土** 14:00~14:30

太夫 / 竹本友代、三味線 / 鶴澤友吉、人形 / 城北座

11/28 **日** 14:00~14:30

太夫 / 大橋后代、三味線 / 竹本友和嘉、人形 / 鳴門座

※両日とも、11時から定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」も併せてお楽しみいただけます。

## 特別公演②人形のルーツ

人形浄瑠璃で使う人形のルーツはえびすさんです。えびす信仰を全国に広めるため、えびすの人形を遣って鯛を釣って見せた西宮神社の氏子たちが、人形浄瑠璃が成立した時に人形を操ったと言われています。釣りが大好きなえびすが、船で沖へ出て大きな鯛を釣り上げるユーモアたっぷりの演目です。鯛と言えば、鳴門の銘酒「鳴門鯛」は、えびすの釣り上げた鯛のラベルで有名です。

### えびす舞

11月 7日(日) 15:00~ あわ工芸座

11月13日(土) 15:00~ 阿波十郎兵衛座

11月14日(日) 15:00~ 勝浦座

11月20日(土) 15:00~ 名月座

11月21日(日) 15:00~ とくしま座

11月27日(土) 15:00~ 寄井座

※上記全日とも、11時と14時から定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」も併せてお楽しみいただけます。

## 特別展「鳴門の町と人形浄瑠璃」



撫養街道 妙見山から岡崎



大江巳之助さんの工房

### 大江巳之助の仕事

戦争でほとんどの人形首を焼失した文楽の再興に尽力した大江巳之助さんのつくった人形をはじめ、修理・修復した人形、能面、絵などを展示。

### 写真で見る鳴門のにぎわい

撫養街道の街並みや人形浄瑠璃の劇場など、塩の生産や観光、港町として大いに潤った鳴門のにぎわいを伝える写真を展示。



団七(丸目)  
馬乃瀬駒蔵作・大江巳之助復原

## 物販コーナー

撫養街道のにぎやかだった時代から続く老舗の味噌やまんじゅう、1週間薪で炊き続けて結晶化させた塩、鳴門の代表的なお土産ものだった浄瑠璃の首人形、日本酒「鳴門鯛」など、鳴門の町と人形浄瑠璃の発展を物語る逸品ばかりを集めました。

- ・鳴門まんじゅう(創業147年)
- ・井上味噌(創業140年)
- ・日本酒「鳴門鯛」
- ・かいふ・そると
- ・郷土玩具 首人形(復刻) など

